

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## さいたま市立 ひまわり特別支援学校



本校は肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒が学ぶ学校です。児童生徒が、今、生きていることの楽しさや喜びを充分に感じながら、将来への夢や希望をもち、一人ひとりがそれぞれのあり方で精一杯かがやくことのできる教育を行います。



■所在地：さいたま市西区三橋 6-1587

■電話：048-622-5631

■FAX：048-622-5642

■交通：JR 川越線 西大宮駅南口徒歩 18分

### 01 特別支援教育における個別最適な学びの充実



ICT 活用の充実と、コロナ禍での体験活動の工夫を行い、個別最適で一貫した指導を行っています。ICT の活用では、一人ひとりに応じたスイッチ教材を活用するなど、様々な方法で ICT の活用を進めるとともに、写真や動画を学びの記録として活用することで、個別最適な学びの充実につなげています。また、感染症対策を踏まえながら学校行事や宿泊学習等を実施し、体験活動の充実も進めています。今年度も、ICT の具体的活用に関する学校研究を重ねながら、個別最適で質の高い教育を目指します。

### 02 児童生徒の健康的な生活づくり



毎月18（いいは）の日に、保健委員会の児童生徒が教室を訪問し、歯みがきの大切さをアピールしています。他にも、歯や口の健康に関する授業や、歯みがき週間における「毎日歯みがきがんばりカード」など、歯や口の健康に関する取組に力を入れています。家庭の協力もその成果として、むし歯処置歯率は毎年100%を維持し、本校では、11年連続で、埼玉県学校歯科保健コンクールにおいて特別支援学校優秀校として表彰されています。今年度も、感染症対策を踏まえながら歯みがき指導に取り組んでいます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## > **さいたま市立 さくら草特別支援学校** >>>>>>>>>>

本校は、肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒が在籍するさいたま市2校目の特別支援学校です。学校教育目標を「夢と希望をもち、自らの力を発揮し、共に生きる子どもを育てる」とし、児童生徒一人ひとりの障害の状態等に応じた指導を行っています。

まだ歴史は浅いですが、地域学校協働活動と特別支援教育への理解促進活動によって、地域に根ざした学校を目指しています。



■所在地：さいたま市緑区三室 636-80

■電話：048-712-0395

■FAX：048-872-7272

■交通：JR北浦和駅より市立病院行きバスで15分

### 01 地域と共に協働活動



本校では、開校以来、児童生徒が近隣地域宅に訪問し、学校日より等を届ける活動を行っています。児童生徒や教職員が、地域の方と直接顔を合わせて挨拶をすることで、学校と地域の連携につなげています。また、地域の方や地元ボランティア団体、手話サークル、ロータリークラブ、近隣幼稚園などと協働し、ふれあいコンサートを定期的開催しています。手づくり楽器による全員合奏、手話披露、園児の踊りなど、児童生徒とのふれあいを中心とする全員参加型として地域ぐるみの文化音楽活動を展開して、学校理解を図るとともに、連携協働体制の深化につなげています。他にも校地内の花卉栽培、学校行事の運営支援、交流作品展など、地域や諸機関と学校との協働活動に取り組んでいます。



### 02 交流及び共同学習の推進



本校では、近隣の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校等と積極的に交流及び共同学習を行っています。

学校間交流では、学部ごとに他校へ出向いたり、お迎えしたりして、一緒に授業をしたり、ポッチャを楽しんだりして交流を深めています。また、近隣の中学校との交流では、吹奏楽部の生徒が来校して演奏を行うなど、交流の内容もさまざまです。居住地校交流では、本校の児童生徒が居住している地域の小・中学校の学級に入って、授業や学校行事等に参加しています。直接会って交流することが難しい場合でも、オンラインによる授業や手紙のやりとりを通して、積極的に交流を推進しています。

### 03 食育の充実



本校では、安全でおいしい給食の提供を通して、食育を推進しています。食材に地場産物を積極的に活用し、地元の味、愛情が詰まった料理を毎日提供するとともに、その日の給食や食べ物のことを児童生徒に知ってもらうために、給食室からのお手紙「めしあがレター」を配っています。また、「さくら草ごはん」や本校のマスコットキャラクターの焼き印を押した卵焼きなど、学校の特色を取り入れた献立や調理方法に工夫を凝らすことで、児童生徒もおいしく楽しく給食を食べることができています。

さらに、本校の食育や給食についての理解を深めていただく機会として、地域の方や保護者を対象とした給食試食会を実施しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
**浦和高等学校**

本校は、昭和15年に開校し、80年の歴史と伝統をもつ進学校です。「楽しい進学校」として、さまざまな教育活動を行い、高い志をもって輝き続ける生徒を育成を目指しています。

- 所在地：さいたま市浦和区元町1-28-17
- 電話：048-886-2151 ■FAX：048-883-2029
- HP：<http://www.urawashi-h.ed.jp/>
- 交通：JR京浜東北線北浦和駅東口徒歩12分

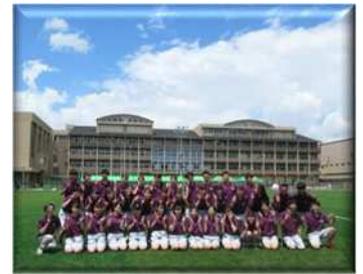


## 01 80年の歴史と伝統に培われた魅力ある教育



学校教育目標「高い知性と豊かな人間性・社会性を兼ね備え、国際社会に貢献する高い志を持った人材を育成」の実現に向けて中高の教職員が一体となって教育活動に取り組み、SDGs 17全ての開発目標の実現を目指し、常に工夫改善に努め、変化に対応した教育活動を展開しています。

- 中高合同行事（文化祭や体育祭等）
- 中高合同教職員研修会
- 浦和中学・高等学校コミュニティ・スクール
- 中高一貫教育



## 02 高い知性と豊かな人間性・社会性を備えた生徒の育成



最適な学習環境の提供に努め、進路希望に応えるために2年・3年と類型制をとり個々の進路にあった授業展開をしています。HR活動、学校行事、部活動を通して、充実した人間関係を育てています。

- 総合的な探究の時間
- レシテーションコンテスト
- MUHS SDGs Project I・II
- ディベート授業



## 03 国際社会に貢献できる生徒の育成



全教育活動を通して国際理解教育を推進し、国際社会に貢献する高い志をもったグローバルな人間を育成することを目指しています。

- シンガポール海外修学旅行(2学年全員)
- 米国姉妹校相互交流事業(バージニア州リッチモンド)



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## さいたま市立 浦和南高等学校

本校の生徒は「南高生の誇り 10 箇条」を座右の銘として、文武自考を成し遂げるよう日々意欲的に学校生活を送っています。人工芝グラウンドや体育館のエアコン設置等の施設設備の充実、生徒全員が iPad を利用し、先進的なネットワークシステムを活用した学習環境の整備など、学校全体の教育環境の進化を推進しています。また、単位制高校のメリットを生かし、豊富な選択科目や少人数授業、オンライン英会話等も充実しています。



■所在地：さいたま市南区辻 6-5-31 ■電話：048-862-2568  
 ■FAX：048-838-2932 ■交通：埼京線北戸田駅徒歩 10 分 武蔵浦和駅徒歩 20 分

### 01 SDGs17 の目標を各自でまとめる南高 Action for SDGs

南高では 2 年次 3 学期～3 年次 1 学期に以下の目標のもとに Action for SDGs を実施しています。



- ①SDGs を「自分ごと」としてとらえる機会とし、また自分の興味がある分野を詳しく学ぶ
- ②自分の考え・意見を論理的に発表する
- ③進路意識を高める

このような活動を通じて大学などで何を学ぶかという研究課題を発見しています。

### 02 国際交流 南高 2023 グローバル人材育成プログラム

南高では 2 年次のオーストラリア研修旅行、ニュージーランド・エレスメアカレッジとの姉妹校交流などの多くの国際交流事業を通じて多文化共生社会を実感する機会を多く持っています。



### 03 社会科学、自然科学など様々な課題を探究する社会探検工房

南高では企業や大学を訪問して探究する社会探検工房の取り組みを通じて SDGs に貢献しています。環境問題、経済問題、産業の在り方など多くのテーマを探究しています。



このように南高は魅力的な様々な活動を通じて SDGs に貢献しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
大宮北高等学校



## 【目指す学校像】

SSH指定校として、「自主・自律・創造」の校訓のもと、自ら学んだ高い「志」を実現し、次代を担い国際社会をリードする人材を育成する。



■所在地：さいたま市北区奈良町91-1 ■交通：JR宮原駅西口より徒歩15分  
■電話：048-663-2912 ■FAX：048-653-7922

## 01 STEAMS 教育で質の高い教育を提供！



本校は文部科学省の実施するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校であり、理数教育拠点校およびさいたま市STEAMS教育中核校としての役割を担っています。全校生徒で実施している「STEAMSTIME」では、生徒の希望により様々なゼミ・ラボに分かれ、生徒自らが設定したテーマに基づいて探究活動を実践しています。文系・理系に関わらず、仮説を設定し、実験・観察やアンケートによる調査などを通してデータを集め、それらを科学的な手法で分析しながら探究活動を実践しています。また、IT機器についても、学びを円滑に進めるツールとして効果的に活用し、グローバルサイエンス人材を育成する学校を目指しながら、質の高い教育実践を行っています。



## 02 科学で気候変動へアプローチ！



SSHの取り組みとして様々なScience Fieldworkを実践しています。「Sea to Summit and Sky」をテーマとして、海・陸・宇宙に目を向けてフィールドワークを実践しています。気温・湿度・風の吹き方・紫外線量・気体の成分・水質・生息する生物などに注目しながら、気候変動についてデータ収集を重ねています。国内だけでなくハワイ・インドネシア・台湾など世界各地で収集したデータから、地球温暖化防止や環境保全に対してアプローチができないかを考えています。



## 03 様々な連携で目標達成を目指す！



市立学校を始めとする国内連携校のネットワークを活用して、協働的な学びを進めています。また、自治体や企業、大学などとの連携も深めながら、よりよい学びの創出を目指しています。さらに、オンラインによる会議なども活用しながら、海外連携校とも積極的に交流を深めたり、訪問したりして、様々なプログラムを実践しています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立大宮国際中等教育学校

Saitama Municipal Omiya International Secondary School



- 1 国際バカロレア (IB) を核とした探究活動と親和性の高い ICT を組み合わせた実践的な研究活動の推進
- 2 海外研修にて異文化体験し、海外の同世代と未知の諸課題への解決を図ることによるグローバルな貢献活動
- 3 大学や企業等と連携した、実社会で役立つ経験を積み重ねた教育活動の展開



■所在地：さいたま市大宮区三橋 4-96 ■電話：048-622-8200 ■FAX：048-622-6700

■交通：JR 大宮駅から西武バスで大宮国際中等教育学校バス停下車徒歩 5 分

## 01 IB と ICT のコラボレーション

### 探究活動と ICT を組み合わせた研究活動の推進



本校は、総合的な学習の時間「3G Project」において、2年生の生徒全員が半年間をかけ、SDGs の 1



ICT を活用した探究活動

7 の目標から各自が 1 つを選んで探究し、全員がプレゼンテーションソフトを使って発表しました。自分がどのような貢献ができるか、どのように行動していくのかについて考え、自作のポスターを掲示して注意喚起を呼び掛けたり、動画を作成して YouTube にアップして社会貢献を促したりするなど、生徒自身が行動する学習者を育てています。こうした取組を通じて、SDGs を意識した授業実践に取り組んでいます。

## 02 グローバルな視点での課題解決

### 世界中の同世代と未知の諸課題への解決を図るための活動



本校は、生徒全員が 3 年生でニュージーランドを舞台にフィールドワークを行います。現地の連携校のいくつかは SDGs に



ニュージーランドの現地の様子

ついて探究活動を行っており、事前学習や現地訪問で、現地の川の水について同世代の人たちと一緒に「人は川や海にどのような影響を与えているのか」などについて、協働で探究活動を行うよう計画しています。SDGs の目標 14「海の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。

## 03 実社会で役立つ経験の積み重ね

### 大学や企業等と連携した教育活動



本校は、芝浦工業大学と連携し、SDGs の視点でさいたま市の諸課題について意見交換をしています。実践的な活動の 1 つとして、大学生と一緒に学校の



学校近隣のフィールドワーク

の近くへフィールドワークに出掛け、地域防災マップを作成するなど、学校の近隣の人たちに役立つための貢献活動を行いました。SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。